

第 8 号様式

WVJ H17-6 号

平成 17 年 12 月 28 日

外 務 大 臣

麻 生 太 郎 殿

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

理事長 峯 野 龍 弘

平成 17 年度国際開発協力関係
民間公益団体補助事業完了報告書

平成 17 年 7 月 20 日付通知 第 63 号をもって補助金の交付決定を受けた標記の事業が完了したので、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律第 14 条前段の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

記

1. 補助事業の名称： 事業促進支援事業 プロジェクト評価支援事業

2. 補助金の交付決定額及びその精算額：

交付決定額 1,997,700 円

精算額 1,789,950 円（別紙のとおり）

3. 補助事業の実施期間： 2005 年 4 月 26 日～2005 年 9 月 30 日

4. 補助事業の成果

今年度は、プロジェクト評価支援事業を利用して、昨年に引き続き、主に現在実施中の支援事業の活動計画と現段階での活動実績をモニタリングし、活動の達成度がプロジェクト・デザインに掲げられている成果に対してどの程度貢献しているか、その関係性を確認する。また、活動における投入（手段・方法・時期・費用）の効率性、成果のプロジェクト目標への貢献度とも合わせて調査する。その結果を次期年次活動計画若しくは時期中期計画の見直しに反映する事としていく。

今年度はプロジェクト実施地域のセキュリティや世界情勢の変動を考慮し、プロジェクト評価を確実に実施するために、また昨年度会計年度の四半期ごとに評価事業実施計画を立てた経験を生かして、当団体の会計年度の半期ごとに評価事業実施計画を立て申請をした。当完了報告書は、ワールド・ビジョン・ジャパン 2005 年度下半期における評価事業実施報告である。（各事業の評価要旨は表 1、評価報告は別添参照）。

(表1) 評価対象事業と評価要旨

国名	プロジェクト名	事業予算	
		【10/2003～9/2004】	【10/2004～9/2005】
調査員所属・氏名 派遣時期	支援対象地	プロジェクト開始日	受益者数
ベトナム	プロジェクト概要		
	チリン郡地域開発プロジェクト		FY04-20,219,523円
海外事業部 プログラム・オフィサー 樋口 博子 2005年5月	ハイズオン県チリン郡	6/1996-9/2004	33,055人
	<p>事業概要:チリン郡に住む貧しい人々の生活の質が向上することを目標に、住民と地方政府に対しプロジェクトの管理・運営の能力を高めるように働きかけて、生活環境、教育、保健衛生、食糧の安定的な生産及び収入の増加を促進するものである。</p> <p>評価概要:8年4ヶ月の事業が2004年9月30日に終了したことを受けて、本年5月23日より、事後評価を行う。</p> <p>【評価結果要旨】当事業は、当初設定されていた目標を十分達成し、事業終了後も多くの活動が住民自らの手で継続されており、住民が持続可能に活動を続けていく素地の確立がなされていることが確認できた。特に、マイクロファイナンスについては、地元グループの組織強化が進み、地元行政の協力も得て、今後活動が更に活動していくことが期待される。</p>		
ザンビア	チブナ地域開発プロジェクト		FY04-34,359,622円 FY05-31,034,712円
海外事業部 プログラム・オフィサー 高橋 真美 2005年5月	ザンビア共和国 南部州 マザブカ郡 チブナ	4/1/1994- 9/30/2006、	約11,000人
	<p>事業概要:保健衛生、教育、農業、指導者育成などの地域開発援助事業。保健衛生(地域保健センターの建設・運営)、教育(初等教育の充実)、農業(畜産技術研修、農業技術研修)、倫理・道徳教育、ジェンダーに関する啓発教育を通して、チブナ地区11,000人の人々の生活が社会的、経済的、精神的に向上する。</p> <p>評価概要:事業終了を1年後に控え、住民や行政への委譲手続きなどを含め、終了後も持続的な体制作りのために、モニタリングの上、計画を作成する。</p> <p>【評価結果要旨】1年後の事業終了に向けて、これまでの事業や成果に持続性をいかに高めていくか、事業関係者と共に調査し、今後の予定について話し合った。加えて、既に実施した事業終了時評価の結果の検証、活動終了の際の手続き、等を話しあい、事業実施の残りの期間ですべき事を出し合い、年間計画の修正準備作業を進めた。</p>		
タンザニア	ンゲレンゲレ拡大地域開発プロジェクト		FY04-34,435,967円 FY05-35,108,060円
海外事業部 プログラム・オフィサー 高橋 真美 2005年5月	タンザニア共和国モロゴロ州 モロゴロ農 村県 ンゲレンゲレ郡	10/1/1995- 9/30/2010	約41427人
	<p>事業概要:保健衛生、教育、農業、水資源開発、指導者育成などの地域開発援助事業 保健衛生(プライマリー・ヘルス・ケアの充実)、教育(初等教育の質の向上)、農業(農業技術研修)、指導者育成、道徳・倫理教育、環境保全等、持続可能な開発援助を通して、ンゲレンゲレ郡に住む人々の生活状態を改善し、子ども達の健全な育成に寄与する。</p> <p>評価概要:HIV/AIDS及び教育事業の進捗を見ると共に、運営体制のものタリングを行い今後の実施に役立てる。</p> <p>【評価結果要旨】当事業において、小学校校舎建設等多数の教育関連事業の実施が進んでおり、事業が順調に進んでいると評価できる。その実施のために解決すべき問題があることもわかった。また、外部コンサルタントと共にHIV/AIDS事業に関する中間評価も実施。事業活動は順調に進み、HIV/AIDSに関する知識の向上、行動変容も見られはじめています。</p>		
インドネシア・2	ススカン地域開発プロジェクト		FY04-21,935,171円 FY05-24,151,951円
海外事業部 プログラム・オフィサー 村井 厚子 2005年6月	ジャカルタ市、チラチャス郡、ススカン 地区	4/1996-4/2009	6,832人
	<p>事業概要:教育(奨学金支援、補習教室運営)、医療・保健衛生(予防接種、健康保険制度の設立、上下水道整備、ゴミ処理対策)、経済開発(職業訓練、所得創出プログラム)、指導者育成を通じ、子どもたちの健全な育成と女性の地位向上を促進し、住民の生活が総合的に改善され自立した生活を営むことができるようになる。</p> <p>評価概要:2003年度までのプロジェクトの進捗状況を、プロジェクト目標達成の観点から検証し、事業地の状況変化を加味した上で、事業終了時に向けた方針、具体的計画の策定を行う。</p> <p>【評価結果要旨】2001年からの第1期(5ヵ年)終了にあたり、中間評価を実施。第1期は事業の基礎固めとして、事業を行う上での体制作り、住民組織作りを実施。各々の活動においても、活動毎のグループが形成されるなど、グループを中心に計画性をもった活動がなされていると評価できる。今後の課題としては、男性の積極的な参加の増加、所得創出活動の充実、衛生環境やHIV/AIDS対策の強化、政府等との協力強化などがあげられている。</p>		

A-1 別添資料

インドネシア・1	ナリッシュ・ザ・チルドレン・プロジェクト		¥106,863,025
海外事業部 ジュニア・プログラム・オフィサー 山野 真季葉 2005年5月	アロール、ウェスト・スンバ、クパン、 TTU、サンガウ及びウェスト・カリマン タン州ランダックのチャイルド・サバイ バル・プロジェクト(CSP)事業地	6/2003-9/2005 (当初～02/2005を 延長)	3,343人の栄養不良児
<p>20ヶ月にわたった当該事業の最終活動評価、および事業開始時からの目標達成度の計測を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 一部対象地域で、ビタミンル配布実績にばらつきが出た原因の調査 - 現地のロジスティクスを含めた事業運営・体制の評価 - 最終的な事業効果の測定(対象児の体重計測結果のとりまとめ) - フェーディング・アウト計画の打ち合わせ <p>評価に際しては、受益者である子どもの母親、保健指導員とのディスカッションの時間も持ち、事業効果についてヒアリングを行う。本事業は長期にわたった大規模なGIK事業であり、今後のGIK事業、類似の栄養改善物資支援事業を計画する際の参考となるよう、包括的な評価を行うことが望まれる。</p> <p>【評価結果要旨】当事業の実施により、6箇所の事業対象地域で延べ42,169人の子どもたちがビタミンル(栄養食)によって栄養価の高い食事をとることができた。また、多くの事業地では定期的な計測が困難ではあるが、体重計測ができた子どもたちのうちでは、毎四半期平均70%の子どもたちが体重を増やしている事がわかっており、成果をあげていると評価できる。</p>			
ブラジル	ファゼンダ・ウルティガ・プロジェクト		FY04-23,904,218円 FY05-21,948,030円
海外事業部 プログラム・オフィサー 樋口 博子 2005年6月	ペルナンブコ州オウリクリ郡及びボド コ郡	10/1995-9/2005	1,100人
<p>事業概要:保健衛生・教育・農業・水資源開発等への支援を通じて、半乾燥地域の厳しい自然環境下で暮らす子どもとその家族の生活向上を図り、子どもたちを健全に育てることが出来る地域を目指す。</p> <p>評価概要:本年9月30日にて、10年間の事業が終了するため、6月に終了時評価を行う。</p> <p>【評価結果要旨】当事業は、9月末をもって終了し、今後は現地の人々によって組織された団体(CBO:Community Based Organization)が地域開発活動を実施していく。既に、農業、非農業分野における協同組合の組織化が進んでおり、活動が今後も住民主体で実施されていくと評価した。</p>			
エクアドル	クスバンバ地域開発プロジェクト		FY2004-28,713,776円 FY2005- 30,590,149円
海外事業部 プログラム・オフィサー 高橋 真美 2005年7月	コトパクス州 サルセド県 クスバンバ 郡	10/1/1997- 9/30/2010	約7952人
<p>事業概要:教育及び水資源開発に重点を置いた地域総合開発事業</p> <p>評価概要:2005年3月に収集したデータの分析を行い、事業評価をまとめることで今後の計画策定を行う。</p> <p>【評価結果要旨】当事業においては、農業支援が大きな成果をあげ、学校設備の修繕、飲料水用タンクの建設などの活動も順調に進み、概ね順調に活動が実施されていると評価した。今後は、資金調達及び地域住民の運営能力強化、職業訓練実施などの活動を通して体制の強化を図る。</p>			
エルサルバドル	ヌエバ・トリニダッド地域開発プロジェ クト		FY2004-17,084,696円 FY2005- 17,084,696円
海外事業部 プログラム・オフィサー 高橋真美 2005年7月	チャラテナンゴ県 アルカタオ郡・ヌエ バ・トリニダッド郡	10/11/1997- 9/30/2006	約3440人
<p>事業概要:指導者育成及び農業支援を中心にした地域総合開発援助事業</p> <p>評価概要:事業終了を1年後に控え、持続的な自立した活動が続けられるように、最終的なモニタリングを行う。</p> <p>【評価結果要旨】事業終了を1年後に控え、いかに活動の持続性を強化し、今後どのように活動していくか、項目別に詳細な話し合いを行い、調整を行った。今後は指導者育成を重点的に終了計画を調整していく。</p>			

<p>モンゴル</p>	<p>①ストリート・チルドレン救済センター『光の家』支援事業 ②女性の羊毛加工技術研修事業 ③モンゴルの子ども達への手編みセーター支援事業</p>		<p>①FY2004-1,196,407円 FY2005-2,746,250円 ②1,495,509円 ③FY05-2,476,286円</p>
<p>海外事業部 プログラム・オフィサー 石黒 克三 2005年6月</p>	<p>①ウランバートル市 ②ボルガン県及びウブルハンガイ県 ③アルバイヘル、ボル・ウンドウル、ブルガン、ダルハン、ドントゴビ、エルデネット、ヘンティ、ウブル・ハンガイ、ズーンハラ</p> <p>事業概要:①貧困や社会情勢の変化によって、路上生活(冬季には、地下のマンホールでの生活)を強いられている子どもたちに対して、保護センターである「光の家」を管理/運営し、子どもたちを保護すると共に、教育の提供、食料、衣服等の支援を実施。さらに、子どもたちが再び家族と共に暮らせるように、家族や子どもへのカウンセリング、職業訓練を行う。 ②モンゴルの女性たちに羊毛加工や羊毛手工芸品政策の技術指導を行い、地域にある資源(羊毛)を製品化し、市場に供給できるように支援する。 ③防寒衣料を必要とする、大規模な雪害の被害を受けている子どもや、路上生活を余儀なくされている子ども、貧困家庭の子どもたちに、日本の支援者による手編みのセーターを支援する。</p> <p>評価概要:それぞれの事業について事業の進捗状況を受益者や技術者などからヒアリングし確認。また事業の目標達成の観点からどの程度実施されているか、検証する。加えてプロジェクト運営管理体制、モニタリング体制、等についても評価を実施する。</p> <p>【評価結果要旨】本事業は概ね順調に実施されていると評価できる。 ①当事業は、ストリート・チルドレンの精神的なケアの実施や離れた家族との和解、里親運動など様々なアプローチで活動を実施している。事業開始当初から10代の青少年達が活動のリーダーになっていたり、政府との保護シェルターの共同運営が始められていたり、大きな成果をあげてきていると評価できる。 ②当事業によって、多くの女性たちが羊毛加工技術トレーニングを受け、生産者グループを結成し、家計収入を向上させている。新たに計画されているトレーニングに対する申込みも、多くの女性が希望しており、また周辺地域にも良い影響を及ぼしている事から事業が適切に実施されていると評価できる。 ③セーターの配布は、適切に計画どおり実施された。この活動によって、今までワールド・ビジョンが活動できなかった地域の住民に広く受け入れられた事、上記編物技術トレーニング事業との相乗効果もみられ、妥当性、達成度、共に良好と評価できる。</p>	<p>①10/1/2001～9/30/2005 ②4/1/2004～3/31/2005 ③12/1/2004～4/15/2005</p>	<p>①410人 ②150人 ③約1,5000人</p>
<p>スリランカ</p>	<p>①カピテゴッラワ地域開発プロジェクト ②ガレンビンドゥンヌエワ地域開発プロジェクト</p>		<p>① FY2004-60,762,274円、FY2005- 55,418,117円 ② FY2004-41,874,256円、FY2005-106,971,271円</p>
<p>海外事業部 プログラム・オフィサー 高橋 真美 2005年9月</p>	<p>①アヌラーダプラ県 カピティゴッラワ郡 ②アヌラーダプラ県 ガレンビンドゥンヌエワ郡</p> <p>事業概要:①保健衛生(保健教育、トイレ建設、井戸建設、栄養改善、マラリア対策等)、教育(学用品支援、学校施設整備、学費支援、識字教育、職業訓練等)、経済(農業開発、灌漑施設の整備、低金利ローン等)、指導者育成、災害対策、社会基盤整備(道路、公共施設等)、環境保全(環境教育、植林)等を通して、地域住民による持続した地域開発と平和の構築を目指す。 ②保健衛生(トイレ設置、井戸建設、健康教育、知的障害児センター等)、教育(幼稚園運営、保母研修、奨学金支給、学用品支給)、経済(農業用貯水池・灌漑用水路造成、農業用井戸建設、畜産、低金利ローン貸付、小規模ビジネス支援)、環境保全、女性の地位向上、指導者育成等を通して、地域経済の活性化と生活環境の改善をはかり、持続的な発展に寄与する。</p> <p>評価概要:①② 事業の進捗評価と共に、今後の方針づくり 【評価結果要旨】本事業は概ね順調に実施されていると評価できる。 ①当事業は、活動費実施地域との比較において、経済的、保健衛生、教育、指導者育成等の面で大きな成果を見せている。特に、灌漑施設整備による農業生産の向上、飲料水の供給など大きな進展を確認する事ができた。 ②当事業は、6年目を迎えているが大きな成果が現れていると評価した。既にカウンセリングセンターは独立する事になり、更にキッチンガーデン研修も多くの無農薬野菜の収穫及び職業教育に役立った。</p>	<p>①10/1/1999-9/30/2015 ②10/1/1996-9/30/2011</p>	<p>①約18,595人 ②約56,750人</p>

別紙

交付決定の内容		支払実績額	確定額 (B)
補助対象経費の区分	補助金の額 (A)		
A1 調査員派遣費	898,900	1,679,042	839,521
A2 調査員人件費	960,800	1,614,455	807,227
A4 事業管理費	62,400	135,205	67,602
A5 外部監査費	75,600	151,200	75,600
小計	1,997,700	3,579,902	1,789,950

補助対象外経費

補助対象外経費の区分	所要額 (自己資金)	支払実績額 (C)	摘要
B1 調査員派遣費	899,090	839,521	
B2 調査員人件費	960,800	807,228	
B3 調査報告書作成費	0	0	
B4 事業管理費	62,460	67,603	
B5 外部監査費	75,600	75,600	
小計	1,997,950	1,789,952	
補助金使用実績(B)	1,789,950	自己資金使用実績(C)	1,789,952
総事業額(B)+(C)	3,579,902 円		

C. 事業費対象外項目経費

C1 その他(調査員支度金、食費等) 126,817

C2 その他(事業管理費) 1,440,753

支払明細集計表

A	補助対象の区分	
	A1 調査員派遣費	839,521
	A2 調査員人件費	807,227
	A3 調査報告書作成費	0
	A4 事業管理費	67,602
	A5 外部監査費	75,600
	小計	1,789,950
B	補助対象外経費の区分	
	B1 調査員派遣費	839,521
	B2 調査員人件費	807,228
	B3 調査報告書作成費	0
	B4 事業管理費	67,603
	B5 外部監査費	75,600
	小計	1,789,952
	合計 (A+B)	3,579,902
C	事業費対象外項目の区分	
	C1 調査員支度金、食費等	126,817
	C2 事業管理費	1,440,753
	総合計(A+B+C)	¥5,147,472